

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 国立障害者リハビリテーションセンター
室長 篠原 正浩 先生
2. 演 題 身体不活動による健康障害の病態解明とその克服に向けた基礎研究
3. 日 時 2021年12月10日(金)17:30~19:30
4. 場 所 ZOOM
(受講希望者は11月30日までに下記アドレスにご連絡ください)
5. 要 旨

適度な身体運動は全身性に多様な健康効果をもたらしてくれる。逆に身体不活動の状態が継続すると様々な健康障害が起こる。骨組織は身体不活動の影響を受ける組織の一つであり、長期間の寝たきりや車椅子生活により骨量が急速に低下する。これは骨組織に対するメカニカルストレスの減弱が要因の一つと考えられるが、骨量低下をもたらす分子メカニズムは十分解明されているとは言えない。我々は簡便に不動性骨粗鬆症を誘導できるマウス不動化モデルを開発し、不動性骨粗鬆症発症の過程を明らかにした。また、分子メカニズムの解明に向けた遺伝子発現解析も進めており、得られた知見の一部を紹介する。その他、我々が行っている障害者研究やリハビリ研究についても紹介したい。

連絡先: 中浜健一(分子細胞機能学分野 内線5574、nakacell@tmd.ac.jp)